

令和7年度第1回富谷市地域公共交通会議 会議録

開催月日	令和7年5月20日(火)							
開催時刻	10時00分			閉会時刻	11時00分			
開催場所	富谷市役所3階 305会議室							
議 事	(1) 市民バス運行計画(案)について							
出席の状況(○出席者・×欠席者)								
1	若生 裕 俊	○	2	鈴木 俊 介	○	3	多 田 康 則	○
4	中 村 力	○	5	岡 野 雅 昭	○	6	佐 藤 政 悦	×
7	佐 藤 新 次	×	8	門 間 とも子	○	9	郷 古 直 子	○
10	中 鉢 勝 利	○	11	関 澤 京 子	代	12	阿 部 政 勝	×
13	佐 藤 雅 之	○	14	高 橋 隆 美	○	15	西 川 和 宏	○
16	菅 原 祐 紀	○	17	遠 藤 秀 一	○	18	田 中 浩 司	×
19	草 野 昭 徳	○						
<b>【代理出席】</b>								
11. 東北運輸局宮城運輸支局 輸送・監査部門 運輸企画専門官 大 沼 隆 博								

議 事 内 容	
1. 開会	(10:00)
2. 市長あいさつ	(10:01~10:07)
3. 委員紹介	(10:07~10:10)
4. 議事	(10:10~10:37) 議長:市長
(1) 「市民バス運行計画(案)」について	
[事務局から説明]	
(2) 要綱改正について	
[事務局から説明]	
5. その他	(10:37~10:47)
○地域公共交通計画の策定について	
[事務局から説明]	
○都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査業務について	
[事務局から説明]	
○公共ライドシェアについて	
[事務局から説明]	
[質疑応答] 別紙のとおり	
6. 閉会	(10:47)

記録: 企画政策課交通政策推進室

## 令和7年度第1回富谷市地域公共交通会議

日時：令和7年5月20日（火）10:00～11:00

## ■質疑応答

委員等名	内容（要約）
（その他）「公共ライドシェア」について	
宮城交通 鈴木次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、「公共ライドシェアの実証事業」について協議が無かった。国に採択されたという事後報告が大変残念。先週富谷市よりご連絡を受けた際に、泉中央を検討しているとのことで尚更驚きである。</li> <li>・昨年度、1年間を通して地域公共交通計画を作成した。これが市のマスタープランである。何度も協議を重ね、委員の意見を反映し、修正を重ねて完成したものである。資料5の2ページ目をご覧ください。「市民バス」は路線の分類基準として地域内公共交通を担うものとされている。同じく3ページ目。ライドシェアは市内移動環境を改善するものとされている。ライドシェアで泉中央に乗り入れるというのは、計画のネットワークと異なる。もしも必要があつてこの計画を変えるというなら、それを具体的に示すべき。その後活性化協議会に図るプロセスも必要になってくると思うが、まずなぜライドシェアかという裏付けやエビデンスがあるのか伺いたい。</li> <li>・ライドシェアは、運送事業者によるサービスの提供が困難な場合に検討されるもの。泉中央駅にはタクシープールがある。公金で競合を作られたら、タクシーはどうなるのか。富谷市内や泉中央からタクシーがいなくなりがねない。</li> <li>・事前協議していないというプロセスは、国の指針やガイドラインにも沿っていない。運輸局がなぜ採択をしたのか。このまま進めて運輸局や仙台市から許可がでるのか。</li> </ul>
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1点目「泉中央駅発着地点のライドシェア」について。泉中央駅から発着するバスの最終便が22時20分となっている。宮城交通さんにご協力をいただいて、コロナ禍前はそれより遅い時間の最終便に多くの市民の方がご利用いただいていたようである。宮城交通として、夜間の増便は難しいと伺っている中で、富谷市民の夜間の帰りの足として確保するため、公共ライドシェアの導入について実証を行うものと考えている。</li> <li>本来であれば交通計画を策定する前段階として地域公共交通活性化協議会で議論し盛り込むべきであったところだが、順序が前後して大変申し訳ない。運輸局に補助申請をし、妥当な計画であるということでこの度採択をいただいたものと考えている。今後、この件についてはタクシー協会等と協議を重ね、この会議の中で案をお示ししていきたいと思っている。</li> <li>泉中央駅を発着とする案以外に、「富谷市内で運行を完結する案」を考えている。これは富谷市内で市民バス、デマンド型交通が無くなる夕方6時からの公共交通の空白時間帯に、富谷市民の交通の足を確保するための案である。</li> <li>以上二つの案で今後実証に向けた検討を具体的に進めていきたいと考えている。</li> </ul>

委員等名	内 容 (要約)
	<p>・2点目、事前協議していないというプロセスについてはおっしゃるとおりであり大変申し訳ない。今後タクシー協会にお話させていただきながら、実証に向けた取組を進めていきたいと思っている。運輸局にも詳細はこれからお伝えするため大変申し訳ないが、今後ともご協力をお願い申し上げたい。</p>
<p>議長 若生市長</p>	<p>・昨年度、地域公共交通計画策定に向けてワークショップを開催し、その報告を地域公共交通活性化協議会の中でさせていただいていた。今回はその延長線として実証に繋がり、ご説明が遅れてしまったことを大変申し訳なく思う。</p> <p>なお、あくまで実証事業で1ヶ月半ほどの期間としている。市民の皆さんから多くの要望をいただいているので、市とすればあらゆる取組をすることで市民の皆さんへの説明となるので、実証事業として進めさせていただければと思う。</p>
<p>宮城交通 鈴木次長</p>	<p>・運転手不足で、なかなか便を確保できず市民の皆さんに負担をかけていることは大変申し訳なく思っている。2024年問題で、なおさら運転手不足が進み、昨年の秋に最終便の前倒しを仙台市内中心に各地で行った。中には、最終便が19時台、18時台となった路線も多数ある。その中で、泉中央22:20発の大富線と新富谷ガーデンシティ線は宮城交通の全ての路線の中で最も遅い便である。これを維持して、最終便終了後の時間帯はタクシーが輸送を担っている。そのような状況下で、そこを「空白」と表現されるのは大変残念である。</p> <p>・深夜の運行を求めるのも市民の声だと思うが、日々の通勤・通学・通院・お買い物のために移動を必要としている市民の皆さんが圧倒的多数であり、政策の優先順位としてはそちらが高い。まずそこにリソースを割くことが最優先かと思うため、是非再考していただければと思う。</p>
<p>事務局 吉田室長</p>	<p>・我々も十分検討し、取り組んでいきたいと考えている。</p>